



## 協会レビュー 2019年第6号

### 協会での取り組み

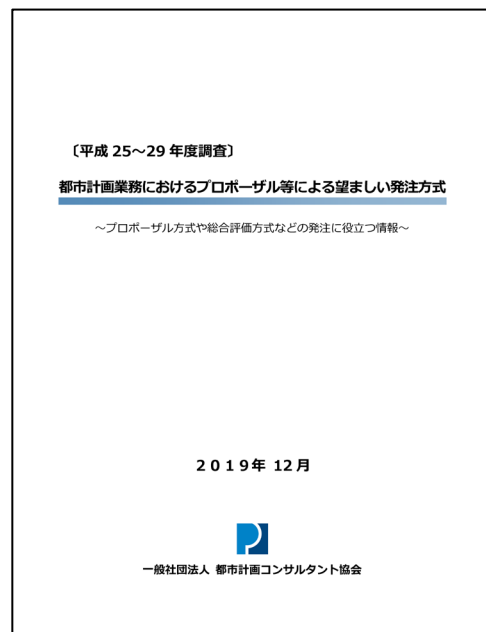
業務の発注前段階で参考にしてください！

## 「都市計画業務における望ましい発注方式」まとめました

我々コンサルタントが業務を受注する上で不可避である「プロポーザル」「総合評価方式」。受注に臨むコンサルタントにとって、その案件が“応募しやすい条件”で、“求められるテーマが明確”であり、準備の期間や書類の作成に“過度な負担が生じなければ”、応募の意欲も高まり、準備もしやすくなるどころです。

協会では、会員企業の意見をもとに、プロポーザル、総合評価方式における望ましい発注方式はどうあるべきかという検討を続け、このたび、「都市計画業務におけるプロポーザル等による望ましい発注形式」として成果をまとめました。発注者に対する提案・助言ツールとして、有効に活用してください。

(編集チーム 津端)



### 目的と経緯

プロポーザル・総合評価方式による望ましい都市計画業務の発注方式の普及を目指し、地方公共団体に対して業務内容に相応しい募集・評価方法の選定や、適格な仕様書の作成等に資する情報の発信・提供を目的として、協会の技術委員会の中に「都市計画業務のあり方検討部会（部会長：若林康彦様（株）ユーマック）」を立ち上げ、平成 24 年度から検討を続けてきました。

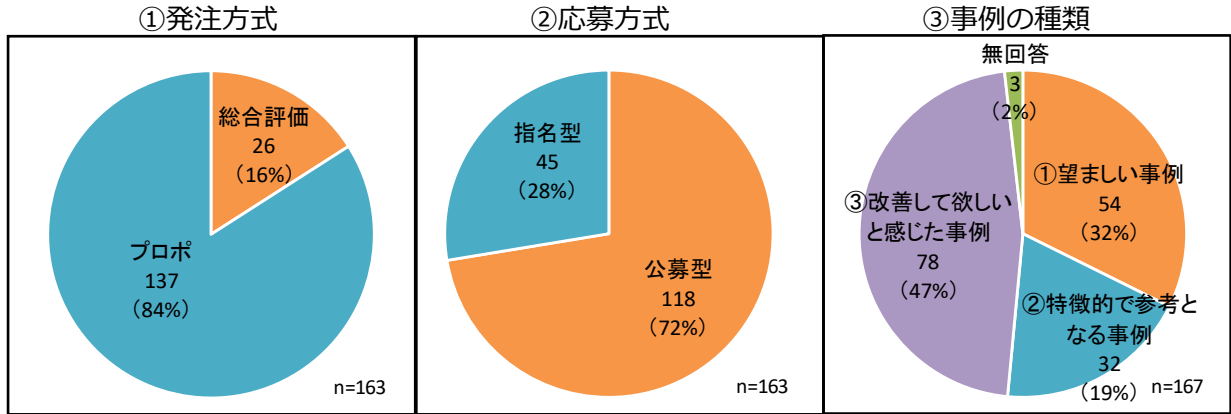
### 検討上の特徴

平成 25 年度から 29 年度までの 5 力年にわたり、会員企業（正会員）に対して、参考となる発注事例のアンケート調査をとり続け、160 件を超える事例を集めました。中でも、個々の発注事例に対する評価（「○○業務の発注形式は△△の点取り組みやすかった」「□□の点は改善が望まれた」といった評価）を確認したことで、事例とコンサルタントの生の声をもとに分析を行ったことが検討上の特徴となっております。



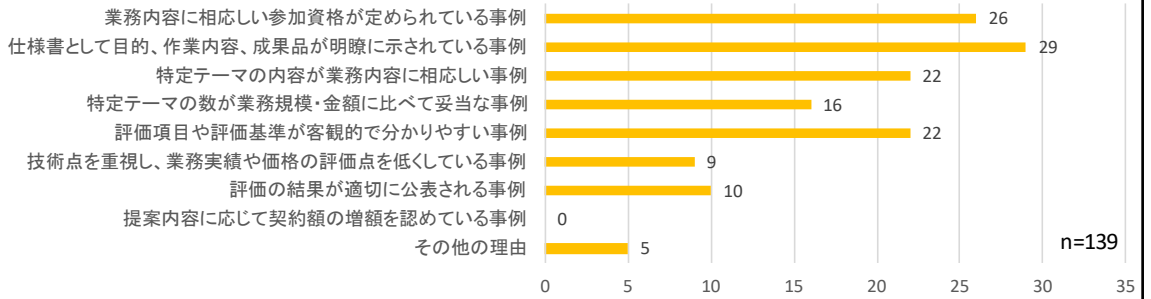
参考までに、アンケート調査の結果から、①発注方式 ②応募方式 ③発注事例の種類（その事例が「望ましい」のか、「参考となる」のか、「改善してほしい」のか） ④その事例を選んだ理由 について、以下にご紹介します。

特に④をご覧くださいと、皆様にも思い当たる理由が数多く見当たるのではないのでしょうか。



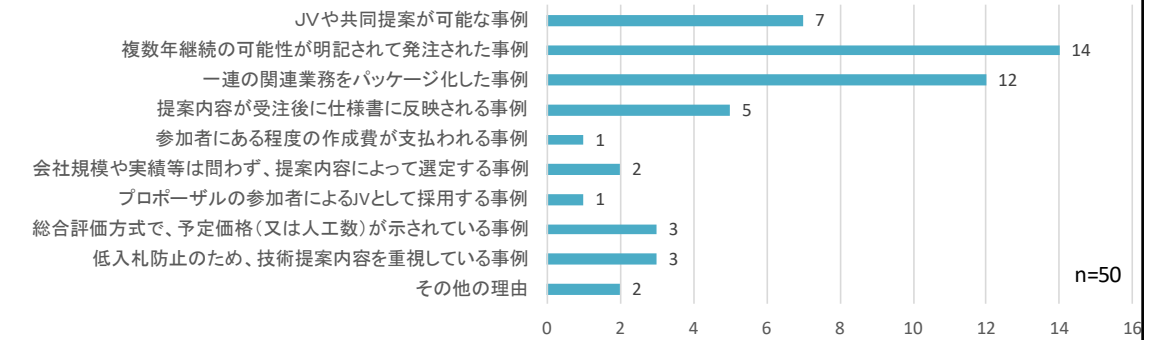
④選定理由

【望ましい事例】



④選定理由

【特徴的な事例】



④選定理由

【改善してほしい事例】





## 事例の分析ととりまとめ

分析では、アンケート調査の推薦理由が「望ましい事例」と「参考となる事例」を対象にして、発注時の募集要項や仕様書等を読み込み、以下のAからKの分析項目ごとに記載内容や表現の仕方等を検討・評価し、業務発注で基本となる考え方や参考事例、改善点等をまとめました。その一例として、D.技術提案に関する考え方と参考ポイントをまとめた部分を、次ページにご紹介しておきます。

### 【分析項目】

A. 参加資格	B. 参考情報	C. 仕様書
D. 技術提案	E. 期間・枚数	F. ヒアリング
G. 評価方法	H. 結果公表	I. 価格
J. 契約	K. その他	

また、全事例の中から、特に優れた事例を選んで公表し、地方公共団体等の発注業務に際して参照されるようにしたいと考えました。そこで、募集内容が優れていることに加え、公平公正な競争や、プロポーサル実施の負担軽減、提案者のノウハウの保全等への配慮が成されている21事例を「参考になる優良事例」として選定し、発注業務の名称や募集様式（募集要項、仕様書等）などを公表することに致しました。

## 報告書は協会HPから入手できます

検討成果をまとめた報告書と、21事例の募集様式（募集要項、仕様書等）は、ともに協会のホームページに掲載されています。

協会ホームページのトップページにある「都市計画業務の参考となる発注事例」から入ることができますので、是非ご活用ください。<https://www.toshicon.or.jp/>



## 検討成果の一部の紹介：D 技術提案に係る考え方と事例

### D. 技術提案

#### 1. 「技術提案」の基本的な考え方

プロポーザル方式における「技術提案」は、業務の実施方針、実施手法、実施フロー、実施体制などの一般的事項や、さらには発注者が個別課題として設定するいわゆる「特定テーマ」（業務の内容に関連した個別具体的な課題）に対する考え方や提案を求めることが一般的である。そのため技術提案として求める内容は、業務に対する効果的な実施方法や課題解決に向けての方策に対する考え方の提案等、具体的で明瞭であることが望ましい。

特定テーマが設定されていない場合でも、実施要領や仕様書などにおいて技術提案で記述して欲しい内容を明確に示してあれば、求める内容に対して具体的に提案しやすいものとなる。

また、提案内容に対する詳細な説明、提案に際して重視すべき事項・業務の着眼点、参考資料（過年度の検討経緯、業務の背景や課題等）など、提案内容に関連した情報が丁寧に示されているものは、発注者が求める内容や留意すべき事項が明確になり、提案書を作成しやすいため、こうした情報提供があることは望ましいと考える。

さらに、特定テーマや求める内容の件数（ボリューム）については、できるだけ提案者の負担を軽減するように配慮することが望ましい。

なお、技術提案として業務の成果（アウトプット）の一部を求めるものではないことを評価の前提とした。

#### 2. 「技術提案」の内容が参考となる代表的な事例

事例番号 業務分野	業務名	各事例の参考ポイント
No.1 総合計画	平成 25 年度都市計画基礎調査等業務委託	・各テーマ(2 件)に対する説明が記載されており、記述しやすい ・実施要領説明会を開催している（出席は参加条件とはならない）
No.5 総合計画 (都市マス)	千葉市都市計画マスタープラン及び都市再開発方針作成業務	・求める提案内容は 2 件で、「特に配慮すべき事項・ポイント」が記載されており、求める内容が明確である ・「都市マスタープラン案の骨子の考え方」が示されており、背景となる情報が提供されている
No.11 土地利用 計画	都市計画道路の整備に向けた大泉学園駅南側地区まちづくり検討委託(その1)	・特定テーマは 3 件で、テーマ内容は、仕様書を踏まえた考え方の他、強調する箇所は下線表示するなど、求める内容は明瞭である
No.15 防災	平成 29 年度大田区羽田地区における整備推進方策検討支援業務	・特定テーマは 1 件と少なく、具体的である ・総合評価方式による
No.20 都市・地域 経営	田辺市価値創造戦略ビジョン・戦略プラン策定委託業務	・特定テーマは設定されていないが、評価基準において評価の視点が 4 項目示されているおり、求める内容は推測でき、記述しやすい

#### 3. 補足：改善して欲しい事例について

- ・特定テーマや求める内容が抽象的で、具体的に何を記載すべきか判断できない事例。
- ・特定テーマや求める内容の件数が過度に多く、提案書の作成が過度な負担となる事例。
- ・業務の成果の一部を求めるような、プロポーザルの範疇を超えた事例。

### 協会レビュー 2019年第6号(令和元年12月発行)

発行元 一般社団法人都市計画コンサルタント協会

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目二番一八号 ハイツニュー平河3F

Phone 03-3261-6058 Fax 03-3261-5082 E-mail info@toshicon.or.jp

Website <http://www.toshicon.or.jp/> 編集責任者 須永和久